

2005年度第4回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会 議事録

2006年3月15日

広報部長 丸藤純

日時：2006年3月12日（日）18：00～

場所：愛知県新城市さくら別館

出席者

現幹事・会計監査・委員

氏名	役職	学校と学年	出席
高橋元気	幹事長	東北大学4年	○
袴田優美	会計	実践女子大学3年	○
櫻木伸也	事業部長	静岡大学4年	○
丸藤純	広報部長	岩手大学2年	○
三矢麻以	事務局長	実践女子大学3年	○
市川雄一朗	普及部長	大阪外国語大学3年	○
真名垣友樹	北東地区代表幹事	北海道大学3年	○
高橋弘恵	関東地区代表幹事	茨城大学3年	○
本郷真弓	北信越地区代表幹事	金沢大学3年	○
福味亮仲	東海地区代表幹事	静岡大学3年	×
大西康平	関西地区代表幹事	京都大学3年	○
倉田陽子	中九四地区代表幹事	山口大学3年	○
川上由紀子	会計監査	新潟大学3年	○
高瀬悠太	会計監査	東京工業大学3年	○
大西梓実	活動報告書作成委員長	東京女子大学2年	○

理事等

氏名	役職	出席
山川克則	副会長	○
上田泰正	理事長	○
大滝民己	理事	○
堺信夫	理事	×
土方隆	理事 ICM&R、理事会会計	×
広江淳良	理事 JOA	×
山口尚宏	理事	×
西脇正展	技術委員会	○
田島聖子	春 IC 実行委員長	×

新幹事

氏名	役職	学校と学年	出席
市川雄一郎	次期幹事長	大阪外国語大学 3 年	○
荒川溪	次期事業部長	東京大学 3 年	○
茂木堯彦	次期事務局長	東京大学 2 年	○
高瀬悠太	次期広報部長	東京工業大学 3 年	○
後藤陽一	次期普及部長	東北大学 3 年	○
金野愛子	次期北東地区代表幹事	宮城学院女子大学 2 年	○
緑川拓也	次期北信越地区代表幹事	新潟大学 2 年	○
奥田雄彦	次期関東学連代表幹事	早稲田大学 2 年	×
青木大輔	次期東海地区代表幹事	静岡大学 2 年	○
小野原翔	次期関西学連代表幹事	立命館大学 2 年	○
二宮恵子	次期中九四地区代表幹事	山口大学 2 年	○

1. 自己紹介

自己紹介については上記出席者を参照。

2. 法政大学インカレリレー参加特例措置承認の確認

本来加盟員はインカレの併設の部に出ることはできない。しかし、法政大学の加盟員は大会に出ることも少なく、いきなりインカレに参加することは難しいとOBから実行委員会に申し出があり、今後に繋げるためにインカレリレーでOBと一緒に一般の部に出ることを認めた。

確認しました。

3. 全日本大会実行委員及びジェネシスとの契約について

ジェネシスから当初の予算より、地図作成の費用が増えることについての事前説明が無かった。幹事会やMLで事後ではあるが詳細な連絡があった。理事としては、今後学連の有用な財となるものだから費用を出すという意見。

現地調査が1日3万2千円は高いのでは？

→今までのボランティアベースから考えると高いが、専門家の仕事なので妥当な値段だろう。

調査は誰が行っているのか？

→中村・和泉・山川の3人。人数が少ないのは、地図表現でのばらつきによる、手直しにかかるコスト削減のため。

7 / 7でジェネシスにお金を払うことが承認されました。

日本学生オリエンテーリング連盟

4. 富士獺友会との問題に起因する、JOA へのお願い文提出の件について

参考資料参照

J O A の会議で上田理事が話をしてきた。

J O A に対し、時系列の正確な状況を説明するが、J O A は各都道府県協会に上意下達できない。

→ そのために細かい部分を慶応大学に聴く。担当は高橋関東地区代表幹事。

メールで指摘された点を直す。

5. 平成 18、19 年度理事について

理事は全員留任する意思あり。

→ 総会で選挙を行う。

6. 大学院生の学連加盟について

地区学連ごとに話し合っ来てもらうということになっていたが、北東学連以外話し合いを行っていなかったため翌日の総会で直接話しあう。

7. インカレ横断幕購入の検討

資料参照

屋外に置くならビニール製がいいのではないか。

ビニール製だと手入れが楽。

10 / 10 でターポリン製を購入する。担当は茂木次期事務局長。

8. 日本旅行との契約について

日本旅行と 5 年間の独占契約を結んでいたが、昨年度で契約が切れ、現在は自動更新されている状況である。

過去に日本旅行以外と契約をしていたが、全国的な対応や、もとオリエンティアが窓口にいることもあり 10 数年に本旅行と契約している。

現在ある問題点について、学連から日本旅行へ改善要望をする。それでも変わらないときは、別の会社に依頼するなど契約を更新しないことも考える。

9. 2006 年度日本学連予算案

資料参照

10. 2005 年度日本学連暫定決算

資料参照

11. 理事会報告

・インカレ継続開催の仕組みづくり

実行委員会の会計が社会人だと、平日に振り込めないなどの問題が出ているため、来年1年間でインカレ会計のありようを変える。

→ コラボレーションで大会を開きやすくするため、地図関係の費用はインカレ実行委員会からはずす。

→ 対外的な会社に払うものは、日本学連の会計が行う。

→ 実行委員会の細かな費用は、実行委員会の予算から出す。

・普及部に全日本前日のフォーラムに参加してもらいたい。

フィットネスOの手伝いをしたい人がいるなら、連絡が欲しい。

・日光自治会館問題。

人としてのマナーの問題だから総会などで考えて欲しい。

・インカレ開会式。

選手宣誓は式典の中で行われているのだから、もっと厳粛にやるべき。

弾けるなら開会式ではなくシード選手紹介で。

・インカレの表彰式で写真をとる必要はあるのか？ 賞状はほしいのか？

表彰式で写真撮影をしなくても、表彰式終了後に大学毎に集まって写真を撮ればいいのか。ちなみに写真撮影が行われるようになったのは5年前から
賞状の作成が、閉会式の開始時刻を遅らせる原因となっている

・栃木県協会への届け出。

学連webサイトで4週間前になっているのを1ヶ月前に変更する。

・学連webサイト。

現在地図販売が事務局のコンテンツの中にあるがわかりにくいので、トップのコンテンツに地図販売を入れるべき。

12. 技術委員会報告

資料参照

13. テレインコントロールワーキンググループ報告

インカレの進捗状況について

資料参照

14. 活動報告書作成委員報告

配布をインカレから東大会に変更。

原稿の締め切りを3月21日に変更。

日本学生オリエンテーリング連盟

15. 各部局報告

事業部

→ インカレ・後夜祭・講習会関係を行った。

事務局

→ 学連名簿の発送をした。

→ 不動産の淹がよく売れた。

広報部

→ いぶきの第6号を発行した。

→ webサイトを適宜更新した。

普及部

→ 若返りして、議論が活発になった。

16. 地区学連活動報告

参考資料参照

17. その他

・ 2006年度春インカレの日程

3月1～4日、大学の日程的に厳しい。

翌週だと、会場が取れないおそれがある。

→ 総会で話しあう。

・ 事務局運営に関する取り決め。

11/11で承認。

・ 筑波大学大会の後援申請。

11/11で承認。

18. 次回幹事会日程

6月3日に東大大会会場周辺で行う。